

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～37
世 界 史	38～51	地 理	52～67
数 学	68～73		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

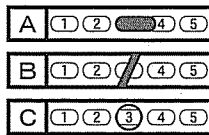
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 地図に関する以下の文章を読み、下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

〔 a 〕 省に属する機関の1つである国土地理院は、地形図や地勢図、地方図をはじめとするさまざまな地図を発行している。地形図の作成は、航空機などから地表面に対して垂直方向に撮影した〔 b 〕写真を用いて行われる。

〔 b 〕 写真は、隣接する写真が60%程度オーバーラップするように撮影される。隣接する2枚の〔 b 〕写真の重複部分に対して、ある特別な見方をすると、地形や地物を立体的にみることができる。これを〔 c 〕という。国土地理院では、地形図の作成において、〔 c 〕の原理を応用した図化機を使い、

〔 b 〕写真から道路や等高線などの正確な位置や高さのデータを取得する作業が行われている。また、〔 b 〕写真のみで把握できないものについては、現地調査のほか、アメリカの汎地球測位システム(〔 d 〕)やロシアのGLONASSなどの全球測位衛星システム(GNSS)を用いた技術なども活用されている。⁽²⁾

国土地理院では、〔 e 〕(GIS)の活用促進の一環として、これまでの2万5千分の1地形図に替わる新たな基本図に位置づけられる、電子国土基本図の整備が進められている。さらに、地形図、〔 b 〕写真、標高、地形分類、災害情報など、国土地理院がとらえた日本の国土の様子を発信するウェブ地図である〔 f 〕がインターネット上で公開されている。〔 f 〕では、国土地理院が整備するさまざまな地理空間情報を閲覧するだけでなく、地形図や〔 b 〕写真などを3Dで表示することもできる。

問1 文中の空欄〔 a 〕～〔 f 〕にあてはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 国土地理院が発行する地形図や地勢図などの中縮尺の地図は、比較的ひずみの少ない地図投影法(図法)を用いて作成されている。この図法の名称を答えよ。

問3 下線部(1)に関連して、図1は、昭和61(1986)年発行の地形図の一部を拡大したものである。この地形図の原寸(拡大前)の縮尺として最も適切なものを、以下の①～⑥から1つ選び、番号で答えよ。

- ① 1万分の1
- ② 2万分の1
- ③ 2万5千分の1
- ④ 5万分の1
- ⑤ 10万分の1
- ⑥ 20万分の1

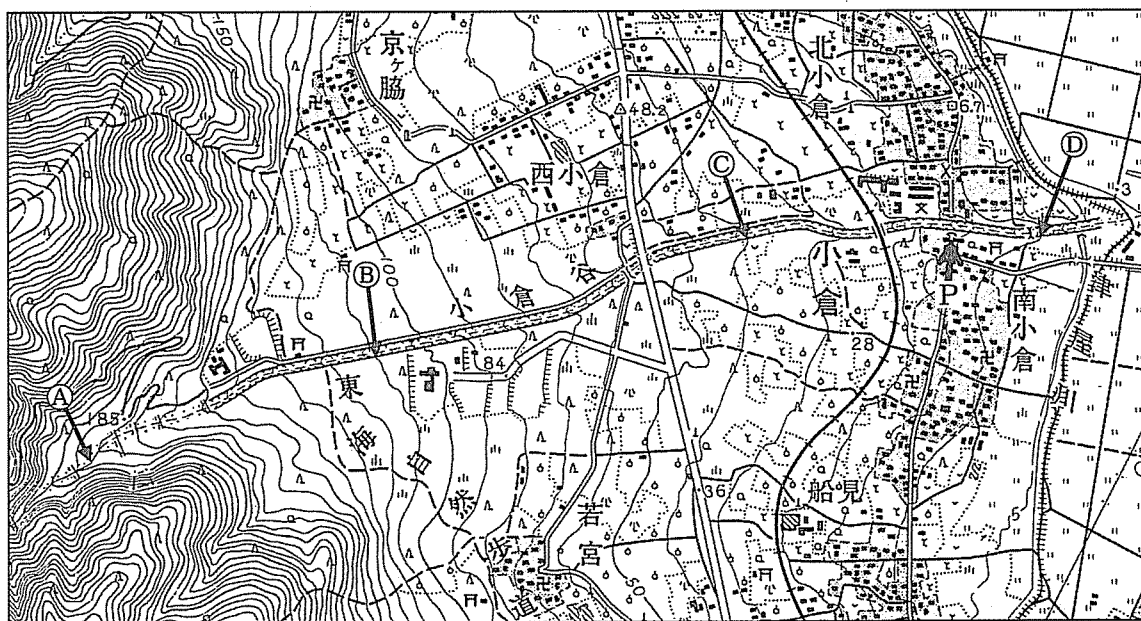
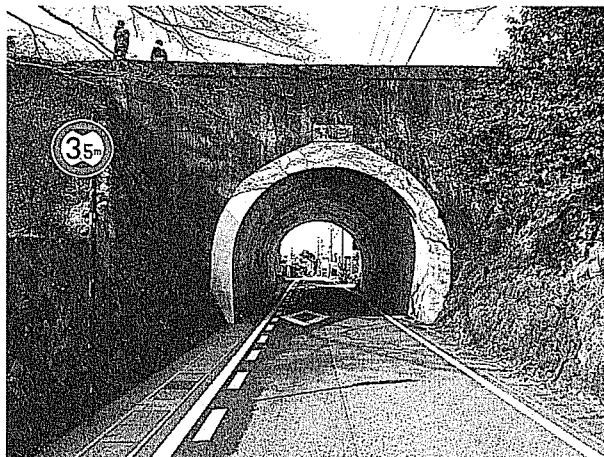


図1

地理

問4 下の写真は、図1の地形図中にみられるある特徴的な地形を、地形図中の地点Pから撮影したものである。この地形の名称を答えよ。さらに、その成因と特徴について簡潔に説明せよ。



問5 図1の地形図中の①-②間と③-④間の水平距離は、原寸の地形図上でともに約3cmである。①-②間と③-④間の平均勾配(%、 2 地点間の標高差 \div 水平距離 $\times 100$)として最も適切なものを、以下の①~⑥からそれぞれ1つずつ選び、番号で答えよ。

- ① 1% ② 4% ③ 7% ④ 10% ⑤ 13% ⑥ 16%

問6 図1の地形図には、平成25(2013)年の図式の改訂に伴い廃止された桑畑がみられる。桑畑の地図記号を解答欄に記せ。

問7 下線部(2)について、平成9(1997)年以降に刊行された地形図には、GNSSを用いた測量のための観測点が地図記号として記載されている。下の地図記号が示す観測点の名称を答えよ。



問8 図2のX, Y, Zは、国土地理院の f からダウンロードした陰影起伏図である。これらの陰影起伏図は、北西の方向から地表面に向かって光を当て、凹凸のある地表面の北西側が白く、南東側が黒くなるように表現されている。図2のX, Y, Zには、火山地形、カルスト地形、氷河地形のいずれかがみられる。X, Y, Zにみられる地形の組み合わせとして最も適切なものを、以下の①～⑥から1つ選び、番号で答えよ。

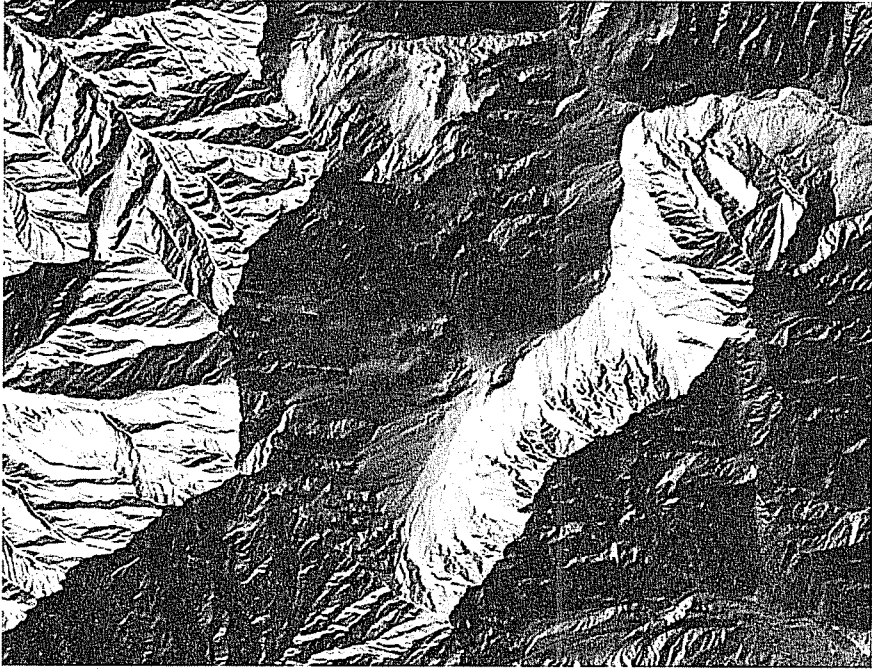
	X	Y	Z
①	火山地形	カルスト地形	氷河地形
②	火山地形	氷河地形	カルスト地形
③	カルスト地形	火山地形	氷河地形
④	カルスト地形	氷河地形	火山地形
⑤	氷河地形	火山地形	カルスト地形
⑥	氷河地形	カルスト地形	火山地形

X



図2

Y



Z

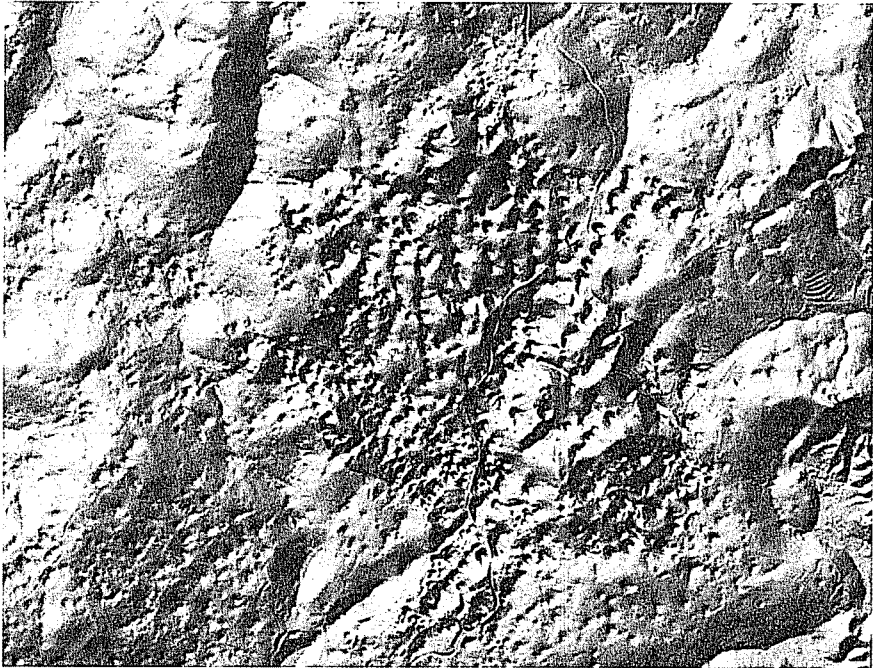


図2(つづき)

〔Ⅱ〕 国の紛争・対立・競争に関する以下の文章を読み、下記の問いに答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

世界にはいくつの国があるのであろうか。意外にも、その数を明確に示すことは難しい。と言うのも、どの立場から国の数を数えるかにより、その数は異なるからである。例えば、国際連合(国連)に加盟する国の数は193(2019年5月時点)であるのに対し、⁽¹⁾日本政府が承認している国の数は195(2019年5月時点)であり、日本を加えた196か国が日本の立場からみた世界の国の数となる。このように、国連やそれぞれの国に認められていない国も多く存在する。その背景には国どうしの紛争や対立があるからである。

歴史的にみて、国どうしの対立や独立をめぐる紛争はさまざまな理由で生じてきた。明確な形で表れるのは国家の三要素の1つである領域をめぐる争いである⁽²⁾。ほかに、民族や宗教に基づく紛争・対立も数多く存在する。⁽³⁾

⁽⁴⁾経済的な側面で生じる国どうしの紛争・対立としては、貿易をめぐる問題が表面化しやすい。2国間の貿易収支において片方の国が大幅に黒字になるなど不均衡な状態になると、対立が生じる場合がある。また、そのような貿易の格差や不均衡の問題は2国間の問題となるだけでなく、多くの国を巻き込む対立構造に至る場合もある。⁽⁵⁾⁽⁶⁾

経済発展はしばしば環境面への負荷を伴う場合があり、そうした環境問題も国どうしの対立を引き起こすことになる。近年では、食料やエネルギー資源、鉱産資源をめぐる獲得競争が激しくなっており、⁽⁷⁾富める国とそうでない国との差がますます拡大してきている。

地理

問1 下線部(1)について、図1は地域別(アジア、アフリカ、オセアニア、CIS諸国、中南米、北米、ヨーロッパ)の国連加盟国数・割合を表している。図中のA～Cに該当する地域名を答えよ。

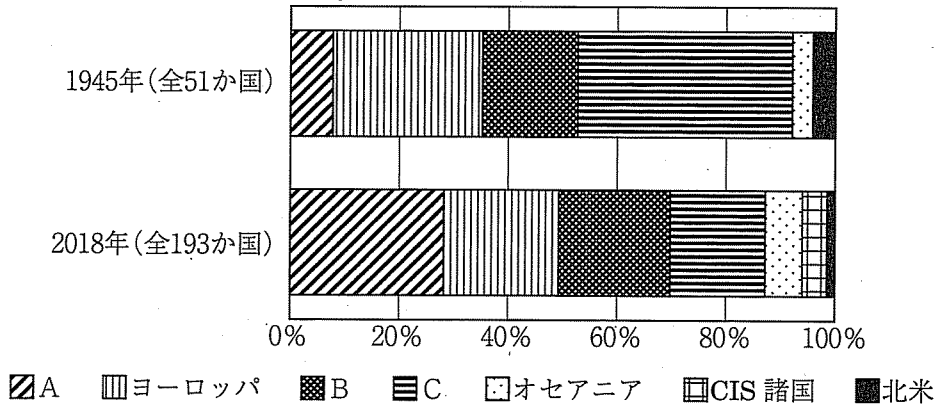


図1 地域別の国連加盟国数・割合

資料：『新編 地図資料2019』より作成。

問2 下線部(2)について、国家に関する以下の文章①～⑥のうち、誤っている文章を2つ選び、番号で答えよ。

- ① 国家の三要素の1つである領域とは、国家の主権が及ぶ陸地(領土)と海域(領海)、およびそれらの上空(領空)で構成される。それらの範囲ではその国家が排他的に支配できる。
- ② 国連海洋法条約により、領海の範囲は低潮線(最低潮位線)から12海里までと定められている。
- ③ 国家の三要素の1つである国民とは、国籍を有して1つの国家を成立させている人間集団である。国籍の規定は国によって異なるが、日本の場合は父親が日本国籍を有していることが条件となる。
- ④ 国家の三要素の1つである主権とは、国内的には国民を統治する唯一最高の権威であり、国外的には国民と領域に対する他国の干渉を許さない統治権を示す。
- ⑤ 共和国とは複数の国・州などが集まって、共通の主権を有する中央政府のもとに合わさって形成された国家である。
- ⑥ 植民地とは本国政府(宗主国)が直接的に統治する地域であり、主権の自由な行使ができない国や地域のことである。

地理

問3 下線部(3)について、以下の①～④は、20世紀以後、現在までに国境および領土をめぐる争いのあった係争地域とその対立国・地域を示している。空欄 ～ に当てはまる国・地域名を答えるとともに、①～④それぞれに該当する場所を図2のア～シから選んで記号で答えよ。なお、 ・ の解答順は問わない。

- | <係争地域> | — | <対立国・地域> |
|------------------|---------------------|---|
| ① カシミール地方 | — インド・ | <input type="text" value="D"/> |
| ② ジブラルタル | — イギリス・ | <input type="text" value="E"/> |
| ③ 南沙群島(スプラトリー諸島) | — 中国・台湾・ブルネイ・マレーシア・ | <input type="text" value="F"/> ・ <input type="text" value="G"/> |
| ④ フォークランド諸島 | — イギリス・ | <input type="text" value="H"/> |

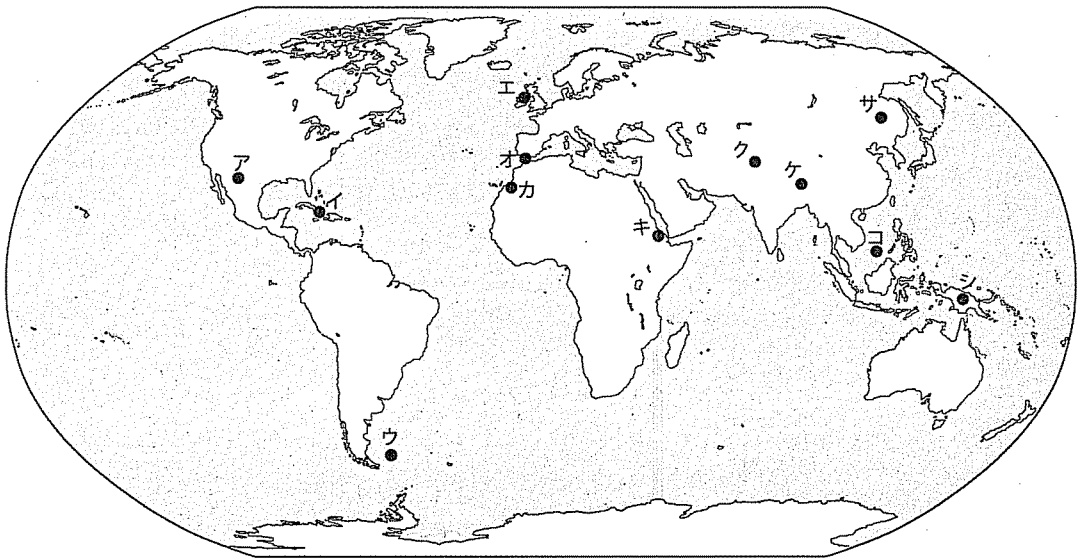


図2 国境・領土をめぐる主な係争地域

問4 下線部(4)について、ロシア連邦内のチェチェン共和国がロシア連邦からの独立を求めているチェチェン問題は、その背景にチェチェン共和国の多数派であるチェチェン人とロシア人との間に宗教の差異があることがことさら強調されている。i)チェチェン人およびロシア人が主として信仰する宗教をそれぞれ答えよ。ii)また、ロシア連邦が武力を用いてもチェチェン共和国の独立を強硬に認めない点について、考えられる理由を答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

問5 下線部(5)について、表1は主な国(アメリカ合衆国、イギリス、韓国、中国、ドイツ、日本)の相互の輸出先とその金額(2017年)を表している。表中のP～Sに該当する国名を答えよ。

表1 主な国の輸出先とその金額(2017年)

輸出先 輸出元	P	中国	アメリカ 合衆国	Q	R	S
P	-	1,421	686	268	85	81
中国	1,028	-	4,298	1,373	711	567
アメリカ合衆国	483	1,299	-	676	539	563
Q	532	1,327	1,346	-	189	137
R	195	965	1,249	219	-	946
S	74	212	582	73	459	-

資料：『ジェトロ世界貿易投資報告 2018年版』(ジェトロ HP 掲載, 2019年5月21日アクセス確認)より作成。

注1：単位は億ドル。

注2：レートは2019年5月17日時点(1ユーロ=1.12ドル, 1ポンド=1.27ドル)。

注3：「中国」には香港およびマカオの貿易額は含まれない。

地理

問6 下線部(6)について、経済における「南北問題」は先進国と発展途上国との経済格差を示す用語であるのに対し、「南南問題」は発展途上国間の経済格差を示す用語である。「南南問題」について、その問題が発生する要因や背景について答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

問7 下線部(7)について、漁業資源だけでなく石油やレアアースなどの海底鉱物資源も存在することから、海で採れる資源の重要性が高まってきている。国連海洋法条約では海を公海、排他的経済水域、領海に区分し、それぞれの区域でその領海を有する国(沿岸国)とそれ以外の国々(沿岸国以外の国々)に対して認められる権利を規定している。沿岸国の排他的経済水域と領海のそれぞれの区域において、沿岸国以外の国々に認められている権利すべてを以下の選択肢ア～オから選び、記号で答えよ。なお、該当する権利がない場合は、「なし」と記入すること。

<選択肢>

- ・ア：海において自由に経済活動を行う権利
- ・イ：海の範囲を統治する権利
- ・ウ：海を自由に航行する権利
- ・エ：海底において電線・パイプラインを敷設する権利
- ・オ：海洋資源を探査・開発・保存する権利

〔Ⅲ〕 東南アジアに関する以下の設問に答えよ。ただし、解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

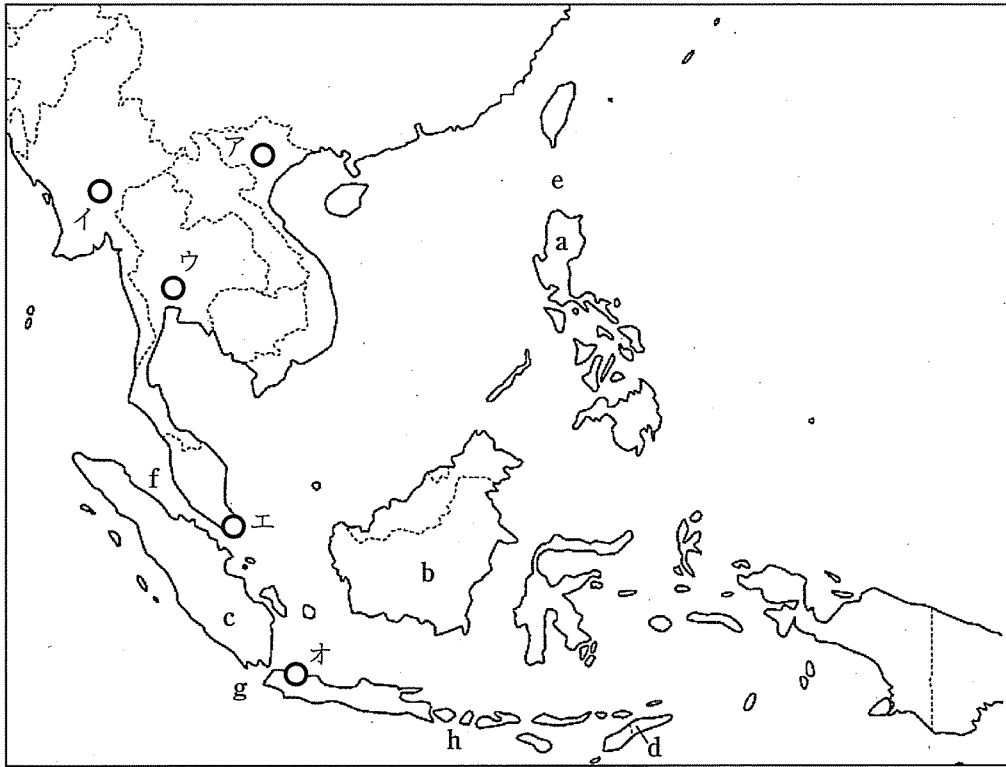


図1

地理

問1 以下の表1は東南アジアの島について説明したものである。 ～
 に当てはまる適切な語句を答えなさい。なお、 ～
 には島の名前が、 ～ には国名が入る。

表1

島の名前	面積(千km ²)	特徴
ニューギニア島	809	世界2位の大きな島。西半分はインドネシアが統治する。
<input type="text" value="A"/> 島	746	世界3位の大きな島。インドネシア・ブルネイ・ <input type="text" value="D"/> に分けられる。
<input type="text" value="B"/> 島	132	人口密度が非常に高い島。インドネシアの首都ジャカルタが立地する。
ルソン島	104	<input type="text" value="E"/> の首都が立地する。
ティモール島	31	西半分はインドネシアが統治する。
<input type="text" value="C"/> 島	5.5	国の主要宗教と異なり、ヒンドゥー教が一般的で、世界的な観光地となっている。

資料：『データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版』ほか

問2 ティモール島の位置を図1のa～dの中から選び、記号で答えよ。

問3 ロンボク海峡の位置を図1のe～hの中から選び、記号で答えよ。

問4 メコン川について述べた以下の文章①～④の中で、説明が誤っているものを1つ選び、番号で答えよ。

- ① 上流部を構成する中国がダム建設を本格化しており、下流諸国と対立している。
- ② 中流部に位置するラオスはメコン川支流に発電ダムを造り、電力輸出を行っている。
- ③ 中流部のタイには水位調節機能を持つトンレサップ湖があり、数多くの水上生活者がいる。
- ④ 下流部のベトナムには巨大なデルタが形成され、世界的な米作地帯となるとともに、エビ養殖が盛んに行われている。

問5 以下の図2は東南アジア各国の宗教構成を示している。H～Lはインドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシアのいずれかである。H～Lに該当する国の名前を答えよ。

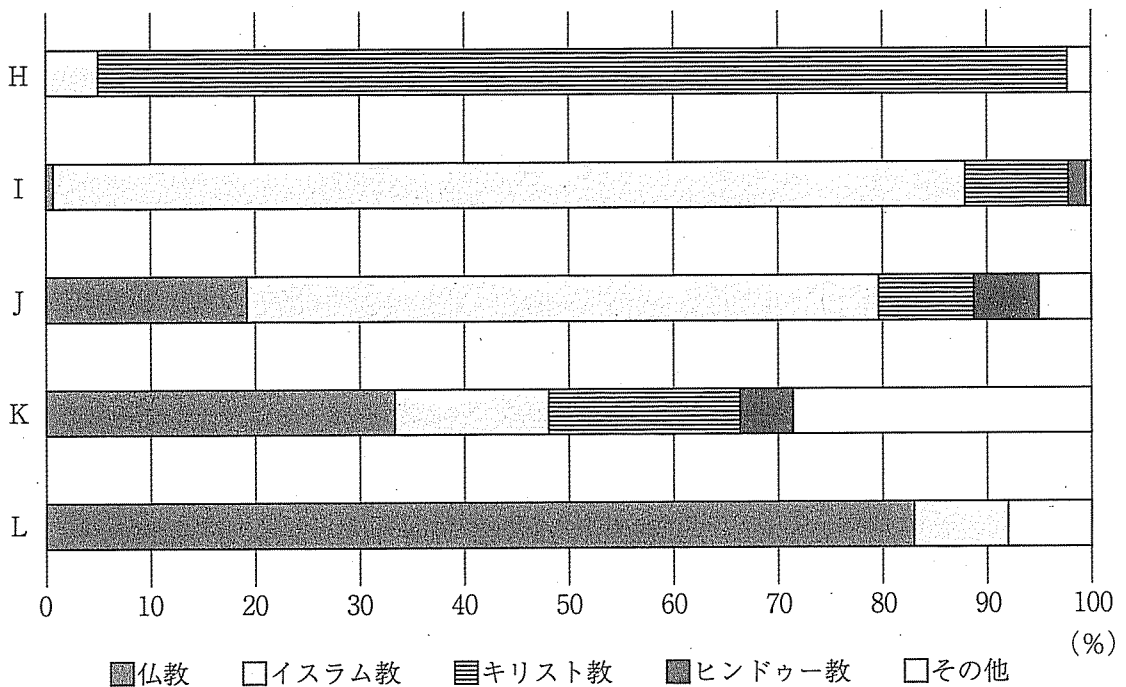


図2

資料：『データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版』

地理

問6 以下の表2は東南アジア諸国の1人当たり総所得(GNI)の推移を示したものである。Q, R, Sにはフィリピン, ベトナム, マレーシアのいずれかが入る。Q, R, Sに入る国の正しい組み合わせを下の①～⑥の中から1つ選び、番号で答えよ。

表2

(ドル/人)

国名	2000年	2016年
シンガポール	24,336	51,126
ブルネイ	19,955	28,883
Q	3,717	9,214
タイ	1,964	5,604
インドネシア	804	3,605
R	1,218	3,552
ラオス	325	2,237
S	383	2,059
ミャンマー	158	1,239
カンボジア	258	1,192

資料：『世界国勢図会 2018/19』

	Q	R	S
①	フィリピン	ベトナム	マレーシア
②	フィリピン	マレーシア	ベトナム
③	ベトナム	フィリピン	マレーシア
④	ベトナム	マレーシア	フィリピン
⑤	マレーシア	フィリピン	ベトナム
⑥	マレーシア	ベトナム	フィリピン

問7 以下の文章M～Oは東南アジアの首都について説明したものである。該当する都市の場所を図1のア～オからそれぞれ選び、記号で答えよ。

M 当該国第2の都市である。南部に位置する第1の都市が経済の中心と言われるのに対し、本市は政治、文化の中心と言われている。長期にわたる戦争の影響も消え、現在は社会主義の下での市場経済の導入により、経済成長が著しい。

N 東南アジアの首都的役割を果たすとともに、現在は東京の世界都市の位置を脅かす存在となっている。

O 2006年に海岸沿いの旧首都から移転した。移転理由には海からの攻撃を受けにくいことや、国内の治安維持などが挙げられている。